

Joint Conference of IWHV2016 & JK2016 on ED&HVE のご案内

(放電・開閉保護・高電圧合同研究会論文募集のご案内)

放電技術委員会、開閉保護技術委員会、高電圧技術委員会では、電気学会活動の国際化、活性化およびアジア地域の高電圧技術交流を目的として、10th International Workshop on High Voltage Engineering (IWHV2016, 放電・開閉保護・高電圧合同研究会) および 2016 Japan-Korea Joint Symposium on Electrical Discharge and High Voltage Engineering (JK2016 on ED&HVE) の合同会議を開催致します。ふるってご応募下さいますようお願いいたします。

- テーマ： 雷および高電圧技術，開閉保護技術，放電技術一般
- 対象分野： 高電圧現象，大電流現象，雷・サージ・絶縁・開閉保護機器・スイッチギア・避雷器等に関わる現象，測定技術，応用技術，機器開発等
- 開催期間： 平成 28 年 11 月 4 日（金）～11 月 5 日（土）
- 開催場所： 宮崎大学（〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西 1-1）
空港からタクシーで約 20 分。
ご参照：<http://www.miyazaki-u.ac.jp/guide/map/kibana>
- 発表方法： 講演はすべて口頭発表とします。本ワークショップの公用語は、英語とします。
- 申込方法： 電気学会研究会電子投稿システムを用いてお申込み願います。
詳細につきましては、以下の URL をご参照願います。
URL：<https://workshop.iee.or.jp/sbtk/cgi-bin/sbtk-workshoplister.cgi>
- 申込締切： 平成 28 年 7 月 8 日（金）
- 原稿作成方法： 電気学会研究会論文作成要領に従って作成して下さい。使用する言語は英語で、フルペーパーとします。
ご参照：http://www.iee.jp/?page_id=4436
- 原稿提出期限：平成 28 年 9 月 30 日（金）
- 参加費： 無料（ただし予稿集費および懇親会費は実費を徴収いたします。）
- その他： 提出された原稿は、IWHV2016 & JK2016 論文委員会で審査を行い、優秀な論文については、平成 29 年度(予定)の電力・エネルギー部門誌「IWHV2016 & JK2016 特集号」への投稿を推薦します。
- 主 催： 電気学会 放電技術委員会・開閉保護技術委員会・高電圧技術委員会
- 共 催： 宮崎大学
- 協 賛： 電気学会 九州支部
IEEE Power & Energy Japan Joint Chapter
IEEE Dielectrics and Electrical Insulation Society Japan Chapter
The Japanese National Committee of CIGRE
The Institute of Engineers on Electrical Discharges of Japan
- 問合せ先： IWHV2016 & JK2016 に関するご質問等は下記までご連絡下さい。
〒210-0862 川崎市川崎区浮島町 2-1
(株)東芝 電力・社会システム技術開発センター 送変電機器開発部
星野 俊弘
Tel. 044-288-6591, Fax. 044-270-1460
e-mail: iwhv2016-ml@criepi.denken.or.jp